

製造業を取り巻く競争環境は厳しさを増すばかりだ。生産性向上・省エネルギーに加え、環境負荷低減、持続可能な開発（SDGs）への対応なども迫られる。「エレクトロヒート技術」を武器に課題解決に取り組む企業の事例を紹介する。

◇ ◇

オレンジベイフーズ（愛媛県八幡浜市）は大手ハンバーガーチェーン向けに添加物を使わない、牛肉100%のビーフパティを生産する。2009年の会社設立から工場環境対応を重視し、設備更新

**オレンジベイフーズ**

**モノづくり現場**

生産革新・脱炭素社会への挑戦



**ヒートポンプ給湯器導入**

**温水供給、排出CO<sub>2</sub>60%減**



〇<sub>2</sub>の排出量を従来より60・1%削減するなど、効果的な取り組みを続けている。安全な製氷を供給する。使用する温水は大量。最大で1日に42立方メートルを使うこともあるという。

同社はこの温水供給用に予備をエコキュールをコントロールする制御盤の設備ではないため、自前の設備ではなかった。前回はエコキュートと合わせて工場空調用冷凍機のブラインポンプのインバーター化も実施。エコキュートとこのインバーター化により従来比69・5%のCO<sub>2</sub>削減が見込める。総設備費は6000万円だが、効果の高さから2分の1は環境省のASSET（松山支局長・森野学彦）が国内で注目される中、「こ

含め、前川製作所製の空気・水面熱源エコキュート「ユニモAW」を2台導入した。工場空調用冷凍機の廃熱も利用し、90度C以上の熱湯をつくって、25立方メートルのタンクにためている。横瀬洋社「使うときは水を加えて温度を下げるため、必要な温水量が10倍、必要温水量が10倍」と話

【企業データ】▽所在地 愛媛県八幡浜市保内町1-289の1、08994・36・13388▽主要生産品目 ハンバーガーチェーン向けビーフパティ